**資料５－１**

**■専門部会からの報告について**

**就労支援部会　報告書**

|  |
| --- |
| **■第１回就労支援部会** |
| 日時：令和６年６月５日（水）　午後２時００分～午後３時３０分 |
| 会場：品川区立障害児者総合支援施設　地下１階多目的室 |
| **１．品川区地域自立支援協議会について** |
| 1. 全体説明   品川区地域自立支援協議会の設置目的および内容、体系について説明を行った。  （２）前回就労支援部会における宿題  ・区の業務支援室の紹介  　２０２３年１１月２１号広報しながわの品川区業務支援室職員（サポート・スタッフ）募集について説明を行った。現時点で８名就労しており、主な業務は、押印、冊子綴じ、資料の電子化、データ入力、ラベル張り等を行っている。また、月１回面談を行い体調確認し、リカバリータイムを設けている。  ・事例報告１：重度障害者の就労  　品川区障害者就労支援センターで支援をしている重度の知的障害がある方の事例について３件、聴覚障害のある方の事例について1件報告があった。  ・事例報告２：視覚障害者の就労  　区のシルバーセンターとゆうゆうプラザで視覚障害者が高齢者向けにマッサージサービスを行っている事例がある。また、品川区障害者就労支援センターで支援をしている事例について1件報告があった。 |
|  |
| **２．超短時間雇用促進事業の進捗状況の報告** |
| 今年度から事業が本格実施した。企業にアプローチし、あわせて働き手となる方にも事業を周知している。令和６年５月末時点で希望者の登録者が１０名となった。パソコンが得意な方や、軽作業が得意な方が登録している。また、登録企業は５社あり、業務内容はテントの設営、在宅でパソコンを使った調査（キーワード検索等）、動物の餌の計量業務、野菜を切る等がある。  マッチングが成功した就労事例として、保育施設で１日２時間週５日、清掃やおもちゃの消毒の仕事に就いた方がいる。就労後半年を経過したが順調であり、本人からは利用して良かった旨の感想があったとのこと。 |
|  |
| **３．自主製品販売イベントについて** |
| 今年度より品川区地域自立支援協議会就労支援部会のイベントとして実施し、販路拡大、工賃向上、地域理解を目的に取り組んでいく旨を説明。区のホームページにおいても広報していく。  ・6月15日（土）「ＪＲ目黒駅」目黒駅改札前イベントスペース  ・検討中「大井競馬場」 |
|  |
| **４．グループワーク** |
| **【Ａグループ】（障害者就労支援センター・就労移行支援）**  **「一般就労につなげていく上での事業所が感じている課題と現状、取り組みについて」**  【課題・現状について】  ・企業の障害者雇用が進んでいる。一般就労につなげていくことについて大きな課題を感じていない。  ・就労準備が整っていない、就労移行を利用しない、自力で就職したいケースでは、現状をありのまま伝えて支援をしていく方がよいと思う。  ・昼なら通える場合や、週２日なら通える場合等、就労につなげにくい。  ・仕事のミスマッチが起きた時に、どうすればいいか考える必要がある。  ・内定が出ても直前にやめることを繰り返すケースがある。  ・収入面で生活に困るケースがある。  ・利用前に利用者の状況により就労移行に合わない場合は、その旨を伝えている。  ・超短時間雇用促進事業を利用して就労を目指している方がいる。  【取り組み】  ・東京しごと財団の障害者委託訓練事業を活用し、通所率、働き方の現状を分析している。  ・仕事の掘り起こしに取り組んでいる。  ・アセスメントを実施している。 |
| **【Ｂグループ】（就労継続支援Ａ型・Ｂ型・自立訓練）**  **「受注拡大（製品の売り上げ増・役務の受注増）に向けて事業所が感じている**  **課題と現状、取り組みについて」**  【課題・現状について】  ・安定的に提供できる軽作業が減っている。  ・公園の清掃などの仕事が減ってきている。  ・選挙関連で受注していた仕事がなくなってしまった。  ・軽作業を中心に考えており、製造単位の交渉、新規開拓等、受注拡大に向けて動いているができることに限界を感じている。  ・配送の仕事が増えているが、できる方が限られている。  ・スピードと生産性。  ・自主製品を製造できる利用者が限られている。  ・利用者の適性を考える必要がある。  ・仕事に求められているクオリティーと本人のスキルのミスマッチが起きることがある。  ・職員体制上、現行の業務を維持することが難しい状況。  ・販売の機会を拡大させようとしても、出展料や手数料がかかる場合もあり、取り組みがなかなか進んでいかない。  ・出店料を、区に負担していただきたい。  【取り組み】  ・内職作業を中心に受注しているため、品川区は仕事が少なく、横浜まで仕事の開拓に行っている。  ・まずは使える商品を作ることに集中している。  ・受注できる量が限られているため、単価を上げるなどの交渉が必要。  ・品川区のホームページで作品紹介をしている。  【その他】  ・自主製品販売イベントのネーミングについて、「品川」と分かること、どの販売会にも利用できること。近隣区の事例を参考にして、品川区とわかるネーミングを取り入れてはどうかとの意見があった。 |
|  |
| **５．その他** |
| ・就労移行支援事業所より、今ある事業所は事業継承されるが、親会社が変わるとの報告があった。  ・令和６年６月８日に東京大学にて、超短時間雇用促進事業のシンポジウムが開催され、品川区が発表するとの報告があった。 |
| 出席：部会長：区立発達障害者支援施設長 |
| 部会員：１．品川宿 |
| ２．げんき品川 |
| ３．ジョブサ品川区 |
| ４．ミラトレ大井町 |
| ５．ライクチャレンジサポート大森駅前 |
| ６．ディーキャリア品川サウスオフィス |
| ７．福祉工場しながわ（プチレーブ） |
| ８．すまいる・さぽーと品川 |
| ９．品川区立西大井福祉園 |
| 10．ガーデン |
| 11．品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぽ」 |
| 12. さつき |
| 13．かもめ第一工房 |
| 14．かもめ第二工房 |
| 15．トット文化館 |
| 16．ふれあい作業所西品川 |
| 17. ふれあい作業所西大井 |
| 18．TODAY南品川 |